

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	0176700540		
法人名	有限会社 そうせい舎		
事業所名	グループホームあったか宝来館		
所在地	稚内市宝来2丁目2番19号 (電話) 0162-24-6000		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月13日	評価確定日	平成20年2月5日

【情報提供票より】(平成19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	11 人	常勤 5人, 非常勤 6人, 常勤換算	8.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	21000 ~ 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	7名	男性 1名	女性 6名
要介護1	0	要介護2	3
要介護3	3	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85.2歳	最低 69歳	最高 96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立稚内病院・盆子原歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は海に程近い市街地に位置し、かつて旅館として使用していた建物を改装して開設された。事業所内は落ち着いた雰囲気有しており、利用者が過ごしやすいようゆったりとした造りになっている。「いつも笑顔で、ゆったりと楽しく、いつも寄り添って」という基本理念を基に、職員は常に利用者を尊重しながら日々のケアサービスを実践し、利用者は自分のペースを保ちながらゆったりと過ごしている。今後も外出支援等で利用者の日常的な活動性を保ちながら、その人らしく生活することが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価における課題であった理念について、職員間で話し合い新たな理念をつくりあげている。また、その他の項目についても会議等で協議し、改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価については事業所の限られた職員で行われており、今後は全職員で項目ごとに検討しながら自己評価に取り組むことが期待される。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や利用者の状態等について報告している。また、緊急時に地域から協力が得られるような働きかけを行っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>職員は日頃から家族とのコミュニケーションを大切にし、来訪時に声かけをして利用者の日々の暮らしぶりや健康状態等について伝えている。また、毎月担当職員が写真入りの便りを作成し、家族に送付している。家族から意見・要望等を受けた場合は会議で対応策を協議し、改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域の行事や近隣幼稚園の行事に参加している。また、散歩や買い物時に近隣住民と挨拶を交わすなど、地域との交流を図っている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合っつくりあげた独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で理念を共有し、日々のケアサービスにおいて実践できるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域行事に参加したり近隣幼稚園の催し物に出向くなど、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での課題について改善に取り組み、日々のケアサービスに反映させている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や利用者の状態等について報告している。また、会議を通じて緊急時に地域から協力が得られるような働きかけを行っている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>2ヶ月に1度、市の地域ケア会議に参加し、同業者との情報交換や情報提供等を行っている。また、利用者の諸手続きや相談等で地域包括支援センターと密に連携を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月担当職員が写真入りの事業所便りを作成し、利用者の暮らしぶりや健康状態等を家族に伝えている。また、金銭管理については出納帳の明細書と領収書を家族の来訪時に提示し、内容を確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来訪時や電話連絡の際に、職員は家族から意見・要望等を聞いている。また、家族会を発足し、家族が意見・要望を気軽に伝えやすい工夫をしている。意見等を受けた場合は申し送り時に職員間で対応策を協議し、改善に取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職は最小限となるよう努めている。また、職員を新規採用する場合は職員の配置に考慮し、利用者との馴染みの関係を築けるよう工夫している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加する機会があり、職員は積極的に受講している。また、外部から講師を招いて内部研修を実施するなど、職員が参加しやすい工夫をしている。研修受講後はミーティング時に内容を報告し、職員間の情報共有を図っている。しかし、全職員が研修に参加するまでには至っていない。</p>	○	<p>今後も外部講師を招いての研修を定期的実施する等、より多くの職員が研修に参加する機会を設けることが期待される。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に未加入であり、同業者と交流したり、情報交換を行うまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、職員交換研修等を継続的に実施し職員のスキルアップを図り、更なる質の向上に取り組むことが期待される。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に事業所を見学してもらったり、本人・家族と面談して事業所の雰囲気馴染んでからの入居となるよう配慮している。また、情報収集することにより、本人の意思を尊重した支援となるよう取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理・編み物・畑作業など職員は利用者から教えてもらいながら支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者の希望や意向の把握に努め、柔軟に対応できるよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	家族からの情報や意見を取り入れ、利用者本人の状況を確認しながら職員間で話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月ごとに介護計画の見直しを行うとともに、利用者の状態変化に応じて家族と話し合い、新たな介護計画を作成している。また、職員の引継ぎ連絡ノートを活用し、内容変更等の情報の共有を図っている。	○	今後、アセスメントシートも活用し、より一層その人らしい生活となるような介護計画を作成することが期待される。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	家族の状況に応じた通院時の付き添いや、緊急の入居依頼に対応できるよう受け入れ体制を整えるなど、柔軟な支援を行っている。また、長期入院の際には医療機関と連携を取り、早期退院と事業所での支援の実現に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人・家族が希望するかかりつけ医での受診支援を行っている。また、日頃からかかりつけ医と連絡を取っており、緊急時に連携が図れるような体制を築いている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	利用者が重度化した場合の対応について、家族と協議している。しかし、事前に事業所の対応方針の説明や家族の意向確認を行うまでには至っていない。	○	今後、重度化・終末期に向けての事業所の方針を定め、家族に説明し意向を確認することが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は日々利用者の尊厳を大切にし、誇りを損ねることのないような支援を行っている。また、個人情報に関しては保管場所が決められており、適切に対応している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切にし、散歩や買い物など一人ひとりの希望に応じた支援を行っている。また、ホテルにて敬老会を実施したり、地域住民とともに餅つき会を開催するなど、季節に応じた行事を利用者と職員と一緒に楽しんでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・盛り付け・配膳など、利用者の力量に応じて食事の準備や後片付けを職員とともにやっている。また、さりげなく声かけや介助を行いながら職員も一緒に食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や健康状態に合わせた入浴支援を行っており、毎日入浴できるような体制を整えている。また、浴槽は家庭的な配置であり、利用者が寛いで入浴できるよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は毎日の暮らしの中で利用者とのコミュニケーションを大切にし、買い物・調理・掃除・お菓子づくりなど、一人ひとりの生活歴や好みに応じた役割や楽しみ事の支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物・ドライブ・観光・外食など、利用者の希望やペースに合わせた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間のみ施錠しており、日中は鍵をかけておらず利用者が自由に入出入りできるよう取り組んでいる。また、利用者が外出しそうな様子には職員はさりげなく付き添うなど、一人ひとりの希望や心情に応じた支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火避難訓練を年に2回実施し、災害時に対応できるよう備えている。また、緊急時に地域から協力を得られるような働きかけを検討中である。	○	今後、救急救命法等の研修を繰り返し実施し、利用者の体調急変時等の対応が行えるよう備えることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は一人ひとりの食事・水分摂取量を毎日記録しており、情報を把握している。また、利用者の1日の過ごし方を記載した事業所独自の日課表を活用し、水分摂取不足等を解消するよう工夫している。さらに、献立は栄養士により栄養価・カロリー計算がされており、バランスのとれた食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は季節に合わせた壁飾りや折り紙・作品等により、季節感を感じられるよう工夫している。また、食堂や各居室からは町並みが眺められるなど、生活感を感じられるようになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはたんす・化粧台・カーテンなど、利用者が使い慣れた馴染みの家具や物品が持ち込まれており、利用者が安心して過ごせる空間となっている。また、一人ひとりの希望や意向を尊重しながら、利用者と職員と一緒に居室の掃除や模様替えを行うなど、本人が居心地良く過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。